

射水市総合計画審議会 第4回活力元気部会 会議録(要旨)

日時 令和4年5月18日(火) 午前10時~11時30分

場所 射水市役所本庁舎2階会議室

出席者

(委員)

岩口久梨果、牛塚松男、大西宏治(リモート参加)、尾山春枝、古池清一、笹川征一、塚本清、津田奈由子、牧田和樹、森由佳子、亘建邦

オブザーバー:鈴木真由美(リモート参加)

欠席委員:なし

(当局)

宮本産業経済部長、吉田都市整備部長、夏野上下水道部長、南上下水道部次長、盛光商工企業立地課長、久々江観光・定住課長、遠藤農林水産課長、橋本都市計画課長、山下道路課長、酒井建築住宅課長、宮本河川・港湾課長、堀上下水道業務課長、前田上水道工務課長、森下水道工務課長、菅原政策推進課長

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事

(1) 全体構成について

政策推進課長	資料1-1~2に基づき説明
部会長	まず、基本構想素案の全体的な構成について質問、意見はないか。 (特になし)
部会長	基本方針ごとに内容を協議したい。はじめに基本方針1について意見をいただきたい。
委員A	1-1の基本目標のタイトルが「新しい家族を築く」となっている。「家庭」を築くではないか。
事務局	ご指摘のとおりである。また、各部のバランスをとるため、第1章と第2章の統合を検討している。
部会長	続いて、基本方針2についてご意見をいただきたい。
委員B	将来の姿の5として「稼ぐ力が高まり」とある。当然、稼がないといけないのだが、それを前面に出すのはいかがか。産業を市内で循環させるような内容を盛り込めたらいい。
部会長	「稼げる産業、誇れる仕事」について、稼ぐことは悪いことではないが、「誇れる産業、価値ある仕事」でどうか。また、将来の姿は、「稼ぐ力が高まり」ではなく、「付加価値が高まり」でどうか。
副部会長	将来の姿の6に「ライフスタイルや価値観」とあるが、「価値観」にピンとくるだろうか。基本目標につながりやすい言葉に変更するか、もしくは不要ではない

か。

事務局 文言については検討する。

部会長 続いて、基本方針 3 についてご意見をいただきたい。

委員 C 将来の姿 7 について、大事なのは人と人とのつながり、助け合いであり、「助け合い」というわかりやすい言葉を入れたらどうか。

事務局 助け合いの要素については、基本方針 5 の中で、様々な分野での支え合いの取組が入ってくる。

部会長 続いて、基本方針 4 についてご意見をいただきたい。

(意見なし)

部会長 続いて、基本方針 5 についてご意見をいただきたい。

部会長 ライフステージごとに分けている中で、住んでいてコミュニティを形成する上で一番の肝であると思う。人が寄り添って支え合っているコミュニティが一番心地いい。その観点で見ていただきたい。

委員 D 一人では生きられない。周りの人に助けられている。一番大事なところである。

委員 E 助け合うことが大事なので、「寄りそい 支え助け合う」としたらどうか。

部会長 続いて、基本方針 6 についてご意見をいただきたい。

委員 F 将来の姿 10 について、観光振興、観光資源に着目しているが、射水市自体を見つけて磨くので、発掘する対象は観光に限らず、射水市すべての地域資源ではないか。

事務局 観光のみならず、地元の魅力を住民自身が発見する視点が入っているべきであり、「地域資源を発掘」とするなど、文言を修正する。

部会長 地域資源というのは、どうしたら地域資源になるのか。

委員 F 暮らしている人も魅力的に感じるものではないか。

部会長 続いて、基本方針 7 についてご意見をいただきたい。

委員 C つなぐものとして伝統文化も入っている。「昔、今と未来」というように、昔や過去についての文言を入れた方がよいのではないか。

事務局 この表現にした意図として、「今」という中には、今につながる過去や歴史があり、今あるものを未来につなげるといったニュアンスでこの文言にしている。

委員 G 過去という表現もいいが、既に伝統文化の継承が示されており、それは過去からつながって今あるものである。

部会長 全体を通して意見はあるか。

委員 A 基本方針 7 7 - 3 の中に主要施策 3、4 が入っていることに違和感がある。これらはエネルギー政策であり、持続可能な都市づくりというような政策に位置付けられるのではないか。

事務局 前回は意見をいただき事務局にて検討したが、なるべく環境分野の取組をまとめたいという考えがある。また、この取組の趣旨、背景として、持続可能性、次代につなげるという視点が強く、7 - 3 に位置付けるのが適切ではないかと判断した。

部会長 主要施策 5 の「文化財の保存・活用」と環境を一緒にしているため、違和感があるのではないか。

委員 A	主要施策 3 と 4 は、基本目標のタイトルからすると間違いなく違和感がある。基本方針 3 など他の基本方針にも入りそう。検討いただきたい。
委員 E	将来の姿 13 で、「信頼される行政運営により、市民が豊かさを感じている」とあるが、本来であれば、市民が豊かさを感じるように行政が取り組むということではないか。
委員 B	効率的・効果的な行政運営の中に DX の推進が位置付けられており、行政のためのものとなっている。本来であれば、市民のためにあるべきものでないか。
部会長	DX は方法であり、それによって行政効率が高まり、ひいては市民のためになるというストーリーかと思う。それがもう少し明確になればいい。
部会長	まちの将来像の〇〇人口に対するアイデアをいただきたい。キャッチフレーズとも関係してくる。
委員 H	「活躍人口 100 万人」はどうか。
委員 I	「エモ人口 100 万人」はいかがか。エモはエモーショナルのエモで、若い人たちがよく「エモい」と使っている。
委員 A	「つながる人口」はどうか。
委員 C	他の地域の人で「射水」を読める人があまりいない。そういうところを利用できないか。
部会長	個人的には「ワクワク人口」が浮かんでいる。イミズムズムズはどうなっているのか。「ムズムズ人口」はどうか。
観光・定住課長	「ムズムズ」は、なにかやりたくてムズムズしている、活気にあふれている状況をいう。
部会長	「ムズムズ人口」はよいのではないか。
事務局	昨日の部会でも、会議後の意見提出で「ムズムズ人口」が出た。目標は、ムズムズにちなんで 6262 万人という意見をいただいた。ほかには、射水をずっと応援するという意味で「いみずっと人口」という意見が出された。
委員 C	方言で「きのどくな人口」はどうか。
委員 J	思い浮かんでいたのは「応援人口」や「関心人口」だが、今、議論されていた「ムズムズ人口」のほうが、射水らしさが出ていてよいと思う。
委員 F	人口 100 万人ではなく、射水なので 132 万人はどうか。また、〇〇人口と言った時、すぐにわかってしまうものではなく、何かひっかかるようなもののほうがよい。射水と関係があり、すぐにわからず、何か引っかかるような言葉があるといいが、思いつかない。
部会長	132 万人だと現実的な数値である。
委員 A	共通の視点、4 について、カッコの中を逆にして、DX の推進を頭に持ってきたらどうか。
部会長	DX は手法であるため、視点とは異なる。何のために DX を用いるのかが視点になるのではないか。
委員 A	他の項目と比べると、タイトルが長い。
部会長	「デジタル技術の活用による」の部分を「DX の活用による」としたらどうか。デジタルトランスフォームすることで行政が効率化するわけである。

- 委員 A | それと市民生活も変わってくる。そのほうがよい。
- 委員 G | 将来の姿5の説明文について、地域資源とあるが、観光と言い方が似ており、ここは「地域の商工農林水産業の資源」と具体的に書いたほうがよい。また、最後が「次代に受け継がれるまちづくりを進める」となっているが、受け継がれたまちづくりというのは意味が分かりにくい。
- | 将来の姿6の説明文については、基本目標の11番だけを言っている。10番の方向性についてもわかるようにしたほうがよい。
- 副部長 | 各基本方針について、いろいろなところに同じ文言が使われているのは仕方ないが、それぞれの将来の姿が目指す着眼点がもう少しわかりやすい形で書かれているといい。特に「住みたい 住み続けたい」と「寄りそい 支え合う」のところが気になる。
- 部長 | いただいた意見は、次回の全体会資料に反映させていくが、具体的な調整等は部長、副部長に任せていただきたい。また、本日発言できなかった意見があれば、お手元の用紙に記入いただき、事務局に提出いただきたい。

#### 4 その他

- 事務局 | 次回全体会を5月31日(火)午後7時から、本庁舎3階会議室で開催を予定している。出席予定は今週末までにお知らせいただきたい。意見提出は今週中に提出いただきたい。次回専門部会は7月下旬ごろに開催予定である。

#### 5 閉会

以上